

Career Design

キャリアデザイン

大学入学はゴールではなくて、自分の夢に向かう第一歩。
卒業後にどんな仕事をして、どんな人生を歩みたいのかという
学生のみなさんのキャリア形成を
沖縄大学では全面的にバックアップしています。
実践的な内容を盛り込んだ授業を通して
夢に進む学生のみなさんにインタビューしました。

中学校の教員

経法商学科 4年次
向陽高校出身

1年次で受けた「キャリアデザイン入門」の授業で「将来の夢を考える時におおまかな目標だけでなく、明確なすぐ達成できそうな目標を立てるといい」という話が印象に残っています。過去の自分を分析して今できることを考えると、未来へ繋がれるという考え方で、それによって自分を客観的に見ることができるようになりました。おかげで教員を目指すことも決められたし、親に感謝の気持ちも持てるようになりました。

自己分析で
夢に向かう

親川 柚希



人の役に立つ仕事を

福祉文化学科
健康スポーツ福祉専攻 3年次 宮古工業高校出身

入学当初は保健体育の教員を目指していましたが、授業を受けるうちに自分の興味はこれではないと気づきました。ゼミの先生に「人生は人それぞれ」と言われたことや、レンタカーショップのアルバイトを通して、自分は裏方志望だと感じるようになりました。自分の接客で観光客に良い印象を残せて、それが最終的に「沖縄にまた来たい」という気持ちに繋がれたらと思っています。進路もこの気持ちを大事にしたいと思います。

松田 彩鈴

社会福祉士



地域とのつながりを

福祉文化学科
社会福祉専攻 3年次
普天間高校出身

中学生の時に職場体験で老人ホームに行ったのですが、高齢者の方々がとても喜んでくれたのが嬉しくて、福祉の仕事をしたいと考えようになりました。今受けている授業では、実際に福祉の現場で働いている方がゲスト講師としてお話ししてくださったり、病院などで福祉関係の仕事を体験する授業もあります。そうした経験を通して、自分らしく心から幸せだと思える生活を送るお手伝いがしたいと、より思うようになりました。

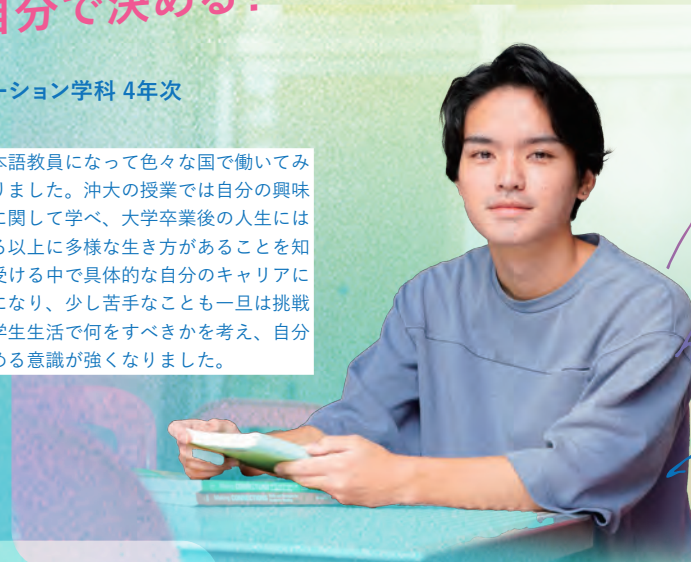
人生は自分で決める！

国際コミュニケーション学科 4年次
本部高校出身

高校時代から、日本語教員になって色々な国で働いてみたいという夢がありました。沖大の授業では自分の興味以外の幅広い知識に関して学べ、大学卒業後の人生には自分が想像している以上に多様な生き方があることを知りました。授業を受ける中で具体的な自分のキャリアについて考えるようになり、少し苦手なことも一旦は挑戦してみることや、学生生活で何をすべきかを考え、自分の人生は自分で決める意識が強くなりました。

日本語教員

上原 佑貴



管理栄養士

照屋 杏樹

自分のペースで進む

管理栄養学科 4年次
沖縄尚学高校出身

大学の先生方が病院や施設で働いている方を授業に呼んでくださることで、将来について考える時の基準ができたことと、以前から望んでいた病院で働きたい気持ちがより明確になりました。病院での実習では、管理栄養士の方も医学専門用語を多く使っていたため、私も在学中から覚えていくことが目標です。また、仕事をする上では端的にわかりやすく伝えることも大切だと気づきました。まずは国家資格取得のために試験を頑張ります。

いろんなキャリア
いろんな未来
Everyone is different



考えが広がった！

こども文化学科 4年次
知念高校出身

小学校の教員を目指す気持ちは、授業で行った子どもたちとのワークショップでより強くなりました。また、色々な実践形式の授業をしたことで、先生が一方的に話すスタイルではなく、子どもの個性に合わせた指導法や接し方が大事だと分かりました。一緒に活動をする機会を増やしたり、授業形式を工夫することで、子どもたちが積極的に質問をしてくれるようになったのは嬉しかったです。

小学校の教員

城間 陸

